
「江戸着物ファッションショー」の ご案内です！

「自分結い 大江戸和髪隊 和髪研究会」も「モデル&髪結い&ご案内係り」
に参加させていただきます！

2013年7月7日（土）アサヒアートスクエアビル 会費：2500円 PM2：00～4：00

【江戸着物ファッションショー実行委員会 西端真矢】

<https://greenfunding.jp/greengirl/projects/389#home>

江戸着物、と聞くと、皆さんはどんな姿を思い浮かべるでしょうか？

「大奥」や「さくらん」の絢爛豪華な衣装？でも、“江戸の渋好み”という言葉も聞いたことがありませんか？

そう、江戸時代は260年間。明治から今までよりも長いんです。その間に着物のスタイルはさまざまに変化して、例えば帯だって、前で結んでいた時代もあったんです。そんな江戸着物のスタイル変化の歴史を、服飾史の第一人者・道明三保子教授がしっかりレクチャー…と同時に、本当にその着物を着た女性たちが舞台を練り歩き、あなたの隣りに座ったりもする。そんなイベントを企画しています。

江戸の女性たちが持っていた自由な発想、自由な色使いに触れて、もっとみんなが着物を好きになる。もっと日本の美意識に誇りを持つようになる。そんな願いを込めたイベントです。

レクチャーを下さるのは、大学教授であり名門和装小物店の奥様！

江戸着物を着た人を眺めるだけなら、時代祭りや日光江戸村に行けばOK。でもそれだけだと、ただ「昔の着物を着た人を見たな～」というだけで終わってしまいます。

“レクチャー＋ファッションショー”というスタイルだからこそ、江戸着物それぞれのパーツや色にはどんな意味があるのか、この着物は江戸の前期なのか後期なのか…そんなことが立体的に理解出来るようになります。そして例えば、時代劇を見るのがもっと楽しくなったり…！

その大切なレクチャーを担当して下さるのが、道明三保子先生。

当日江戸着物で現れるのは…？

当日、江戸着物で舞台を歩くのは、“自分結い大江戸和髪隊 和髪研究会”の皆さん。日々江戸時代の髪型を研究し、しかも自分で結ってしまう…という驚異の日本文化愛好グループです。

当日は江戸の女たちの髪型をしっかり再現し、江戸着物をまとい、江戸の女になり切って舞台に登場。また、会場のあちこちで皆様をおもてなし致します。